



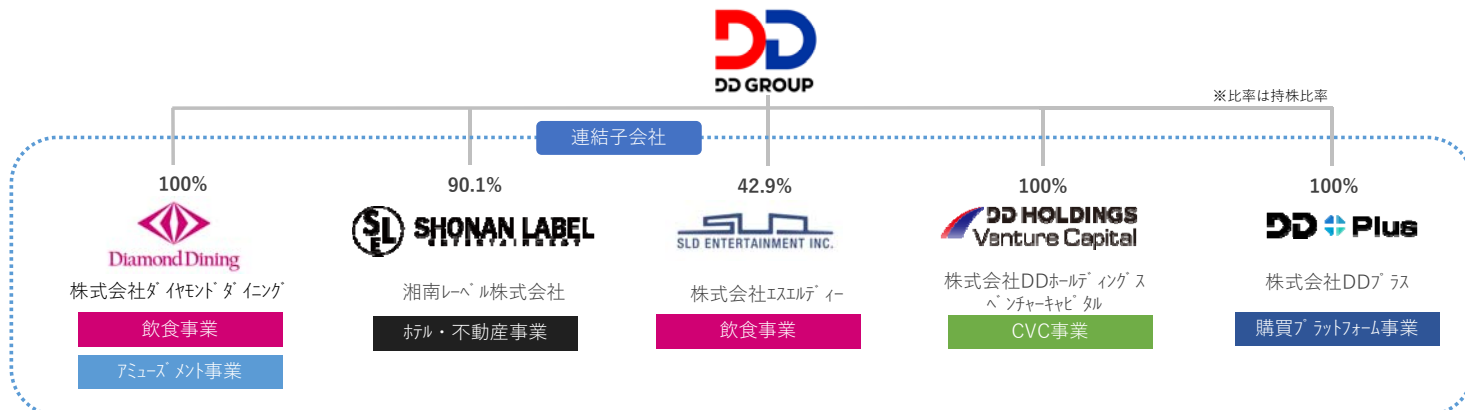
***Dynamic*** & ***Dramatic***

## 2024年2月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社DDグループ  
2023年10月13日



● 経営理念	お客様歓喜
● グループ経営指針	圧倒的な「カッコよさ」という価値観で すべてのステークホルダーに対して「熱狂的な歓喜」を呼び起こす！ 「OPEN~ひらく~」「Community~つなぐ~」「Revolution~みがく~」「Innovation~のびる~」
● グループビジョン	創造的であり革新的であるブランドを創出する ~ブランドカンパニー~
● 行動指針	Dynamic & Dramatic ~大胆かつ劇的に行動する~
● 中期経営計画テーマ	原点超越



※CVC事業及び購買プラットフォーム事業はセグメント区分上「飲食・アミューズメント」事業に含んでおりま

1

## 第2四半期連結累計期間の親会社に帰属する四半期純利益が過去最高益

→営業利益1,671百万円、経常利益1,575百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,421百万円

2

## 2024年2月期の通期連結業績予想を上方修正（過去最高）

→通期業績予想を上方修正し、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益の過去最高益を見込む

3

## 「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消

→業績見通しが安定したことに加え、有利子負債の弁済による財務状況の改善により記載を解消

天候不順（台風や大雨等）の影響もあったものの、人流が穏やかに回復したことで売上高は堅調に推移

売上高  
【2Q累計】  
**182.1**  
億円  
対前年同期比  
122.2%

経常利益  
【2Q累計】  
**15.7**  
億円  
対前期増減額  
16.6億円



2024年通期連結業績を上方修正し、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益の過去最高益を見込む

(単位：百万円)

		前回修正予想① 2023年7月14日公表	今回修正予想① 2023年10月13日公表	増減額	増減率	前期実績 (ご参考)
連結通期 (累計)	売上高	34,861	36,400	1,539	4.4%	32,235
	営業利益	2,250	2,950	700	31.1%	467
	経常利益	2,194	2,780	586	26.7%	838
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,835	2,350	515	28.1%	875
	1株あたり 当期純利益	90.31円	118.76円	—	—	37.30円

## 「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせを2023年10月13日に公表



2023年10月13日

各位

会社名 株式会社DDグループ  
 代表者名 代表取締役社長 松村 厚久  
 (コード番号:3073 東証プライム)  
 問合せ先 専任取締役グループ経営管理部長 香澤 征晃  
 電話番号 03-6858-6080 (代表)

### 「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置を受け、酒類の提供の制限や一部店舗では臨時休業や営業時間短縮の措置を継続して行ったことや、リモートワーク確保や会社自費、部活費用をまたで移動の自費等の影響により、2020年3月以降売上高が急減してまいりました。これら業績に著大な影響を与えた事業に対応するため、経費の削減や各種助成金の活用等を継続して行ったものの、営業損失、経費損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上したこと等から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在してまいりました。

一方で、当第2四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための行動制限や入国規制が緩和され、3月には緊急事態宣言の分限において大幅に緩和されるなど、社会全体でアフターコロナに向けた動きが加速されました。またこれらを受け、リモートワークの減少により人減が回復したことや食料利用増が増加したことや、国の観光支援により、全国展開でのマクドナルド・コンビニの高まりが見られたこと等から、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高18,128百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益1,671百万円(前年同期は565百万円(営業損失)、経常利益1,575百万円(前年同期は69百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,421百万円(前年同期比280.4%増)となり、前連結会計年度から各段階利益において安定した黒字を計上し、業績が堅調に推移してまいりました。

加えて、グループ企業を含めたコストの圧縮、不採算店舗の退店、手許流動性の確保により経営基盤が安定していることや、当第2四半期連結累計期間において、3,571百万円の借入金の返済を実施したことにより財務内容の大幅な改善が図られ、主要取引銀行の支援等も継続しており、2024年2月期(通期)においても、2023年10月13日公表の「2024年2月期 通期連結業績予想の修正(上方修正)」に関するお知らせ)のとおり、業績が当初の計画を大きく上回る見込みとなっております。

当社は、このような状況を総合的に判断した結果、現時点において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないものと判断し、「2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することいたしました。

株主、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には大変ご心配をおかけいたしました。今後の更なる業績及び企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 記載解消理由

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されるなど、**アフターコロナに向けた動きが加速**したこと
- ② 前連結会計年度から各段階利益において安定した黒字を計上し、**業績が堅調に推移**していること
- ③ グループ企業を含めたコストの圧縮、不採算店舗の退店、**手許流動性の確保により経営基盤が安定**していること
- ④ 当第2四半期連結累計期間において、**3,571百万円の借入金の返済を実施したことにより財務内容の大幅な改善が図れ**
- ⑤ **主要取引銀行の支援等が継続**していること
- ⑥ 「2024年2月期通期連結業績予想の修正(上方修正)」に関するお知らせ)のとおり、**業績が当初の計画を大きく上回る見込み**であること



①～⑥までの事象を総合的に勘案した結果、**継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況は存在しないと判断**





2024年2月期 第2 四半期 連結業績

前年同期比で増収増益を達成し、修正計画を上回る業績結果となった

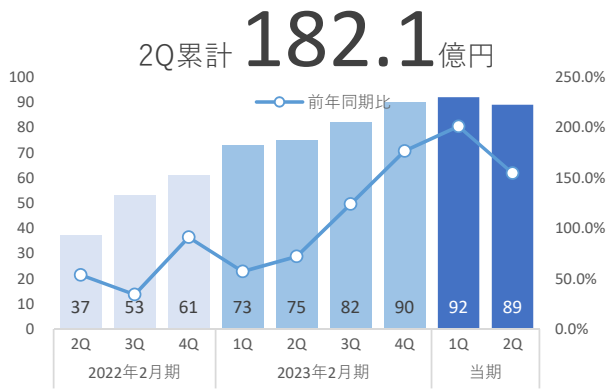
【期間：2023年3月1日～2023年8月31日】

（単位：百万円）

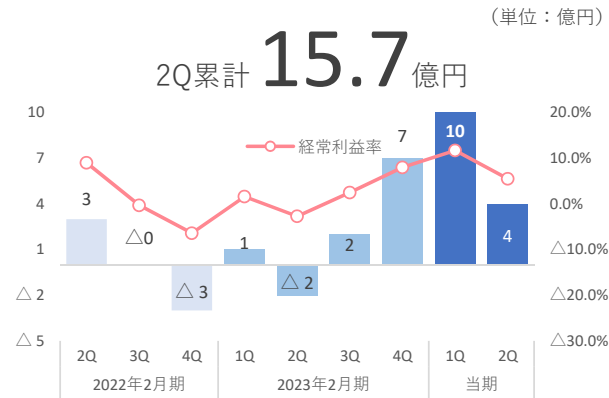
	第2四半期連結累計期間（実績）				第2四半期連結累計期間（計画）	
	前期	当期			金額	達成率
	金額 （売上構成比）	金額 （売上構成比）	前期差	前期比		
売上高	14,914	18,218	+ 3,304	122.2%	17,733	102.7%
営業利益	△ 505 -	1,671 9.2%	+ 2,177	-	1,390	120.2%
経常利益	△ 89 -	1,575 8.6%	+ 1,664	-	1,379	114.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	373 2.5%	1,421 7.8%	+ 1,048	380.6%	1,269	112.0%
1株当たり 四半期純利益	3.85 円	72.97 円	+ 69.12 円	1893.8%	64.57 円	113.0%



売上高  
【累計】  
対前年同期比  
**122.2**  
%



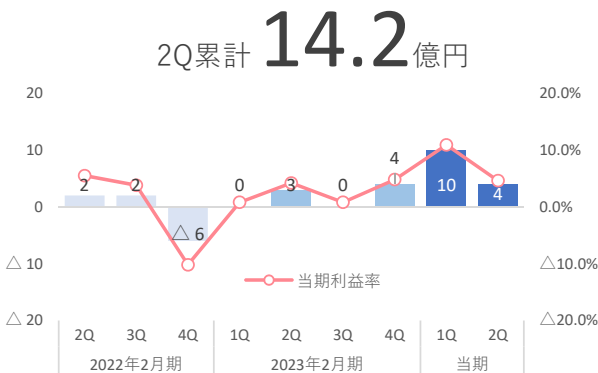
経常利益  
【累計】  
対前期増減額  
**16.6**  
億円



営業利益  
【累計】  
対前期増減額  
**21.7**  
億円



親会社株主に  
帰属する  
四半期(当期)  
純利益  
【累計】  
対前期増減額  
**10.4**  
億円



# 主要係数（四半期推移）

	累計		四半期会計期間				
	2024年2月期2Q	2023年2月期2Q	2023年2月期2Q	2023年2月期3Q	2023年2月期4Q	2024年2月期1Q	2024年2月期2Q
売上原価率	20.5%	22.1%	21.1%	21.8%	21.5%	19.8%	21.3%
販管費率	70.3%	81.3%	81.1%	75.5%	70.3%	68.3%	72.4%
営業利益率	9.2%	△3.4%	△2.2%	2.7%	8.3%	11.9%	6.3%
のれん償却控除前 営業利益率	9.7%	△2.8%	△1.6%	3.2%	8.8%	12.4%	6.8%
経常利益率	8.6%	△0.6%	△2.7%	2.5%	8.0%	11.7%	5.5%
EBITDA	20.7億円	△0.4億円	0.6億円	4.4億円	9.7億円	13.0億円	7.7億円

ネット  
D/Eレシオ

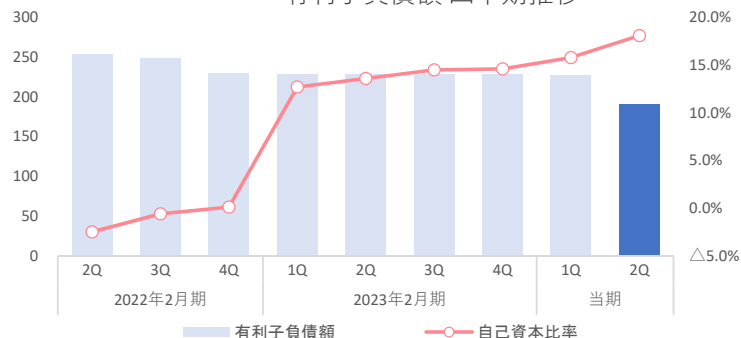
当四半期累計

1.4倍

(前会計年度末)

2.4倍

<有利子負債額 四半期推移>



(単位: 億円)

## 自己資本

…前会計年度末から2,439百万円増加し6,961百万円  
自己資本比率：21.4%  
(前会計年度末：15.8%)

## 有利子負債額

…前会計年度末から3,821百万円減少し19,179百万円  
有利子負債比率：58.9%  
(前会計年度末：64.8%)

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年2月期末	2024年2月期2Q	対前期増減額		2023年2月期末	2024年2月期2Q	対前期増減額
流動資産	15,047	12,613	△2,433	有利子負債	22,836	19,179	△3,657
現金及び預金	12,039	9,175	△2,863	その他負債	6,075	5,617	△457
その他流動資産	3,008	3,438	430	負債合計	28,911	24,797	△4,114
固定資産	20,201	19,938	△263	株主資本	5,469	6,779	1,309
有形固定資産	9,970	9,652	△318	利益剰余金	△2,292	△982	1,309
無形固定資産	2,816	2,723	△93	その他の包括利益累計額	94	182	88
のれん	2,761	2,671	△90	新株予約権	1	1	0
投資その他の資産	7,413	7,562	148	非支配株主持分	772	791	19
繰延資産	0	0	0	純資産合計	6,336	7,754	1,417
資産合計	35,248	32,551	△2,696	負債・純資産合計	35,248	32,551	△2,696

## 【増減主要要因】

▶ 総資産残高：32,551百万円（対前期増減額△2,696百万円）

- ・現金及び預金：対前期増減額 △2,863百万円
- ・売掛金：対前期増減額 63百万円
- ・未収入金：対前期増減額 37百万円

## 【増減主要要因】

▶ 負債残高：24,797百万円（対前期増減額△4,114百万円）

- ・有利子負債：対前期増減額 △3,657百万円
- ・未払金：対前期増減額 21百万円

▶ 純資産：7,754百万円（対前期増減額1,417百万円）

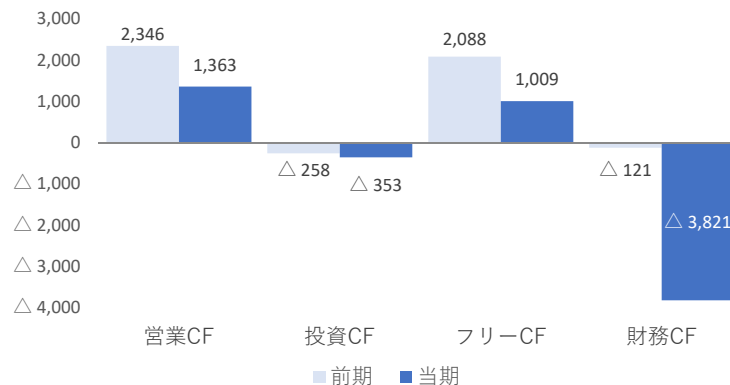
- ・利益剰余金：対前期増減額 1,309百万円

# キャッシュ・フロー計算書（累計）

	2024年2月期2Q	2023年2月期2Q /対前年同期増減額
営業活動による キャッシュ・フロー（営業CF）	<b>1,363</b>	2,346 △983
投資活動による キャッシュ・フロー（投資CF）	△ <b>353</b>	△258 △95
フリー キャッシュ・フロー（フリーCF）	<b>1,009</b>	2,088 △1,078
財務活動による キャッシュ・フロー（財務CF）	△ <b>3,821</b>	△121 △3,699
現金及び現金同等物に 係る換算差額	<b>4</b>	11 △6
現金及び現金同等物の 増加額	△ <b>2,807</b>	1,978 △4,785
現金及び現金同等物の 期末残高	<b>9,569</b>	10,509 △940

## <キャッシュ・フロー累計実績>

（単位：百万円）



### 【増減主要要因】

- ▶ **営業CF：獲得資金1,363百万円（前期:2,346百万円獲得）**  
・未払または未収消費税の増減額△577百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益1,483百万円、減価償却費321百万円があったこと等によるものであります。
- ▶ **投資CF：使用資金353百万円（前期:258百万円使用）**  
・有形固定資産の取得による支出235百万円があったこと等によるものであります。
- ▶ **財務CF：使用資金3,821百万円（前期:121百万円使用）**  
・短期借入金の返済による支出3,003百万円があったこと等によるものであります。



2024年2月期 第2四半期 出店状況

当第2四半期連結累計期間：新規出店3店舗・退店店舗12店舗・業態変更3店舗

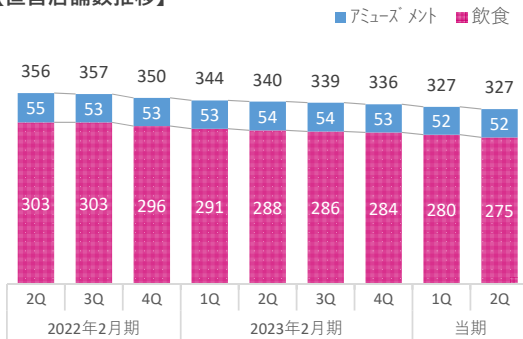
【グループ全店舗数（飲食・アミューズメント）】

飲食	275店舗
アミューズメント	52店舗
直営店舗合計	327店舗
ライセンス+運営受託店舗	9店舗
全店舗合計	336店舗

【グループ運営ホテル棟数（ホテル・不動産）】

ホテル	6棟
-----	----

【直営店舗数推移】



【直営店舗出退店実績（飲食・アミューズメント）】

		出店	退店	連結範囲の変更	直営店舗数	業態変更
2020年2月期	1Q <sup>※1</sup>	12	7	53	486	0
	2Q	5	2	0	489	0
	3Q	7	4	0	492	5
	4Q	4	7	0	489	2
2021年2月期	1Q	3	12	0	480	0
	2Q	5	23	0	462	2
	3Q <sup>※2</sup>	0	9	△70	383	2
	4Q	1	10	0	374	0
2022年2月期	1Q	0	9	0	365	0
	2Q	1	7	△3	356	0
	3Q	0	0	0	356	0
	4Q	1	7	0	350	6
2023年2月期	1Q	0	6	0	344	0
	2Q	0	4	0	340	4
	3Q	1	2	0	339	1
	4Q	0	3	0	336	1
2024年2月期	1Q	1	5	0	332	2
	2Q	2	7	0	327	1

※1 株式会社エスエルディーの連結化に伴う店舗数増加であります。

※2 株式会社ゼットンの連結範囲除外に伴う店舗数の減少であります。



コア事業

エリア拡張となる福岡の新たなランドマークへの出店  
福岡大名ガーデンシティ・ビオスクエア内に新規オープン！

飲食



## 「Park South Sandwich FUKUOKA」を2023年6月8日オープン



< Park South Sandwich FUKUOKA (福岡県福岡市中央区大名) >



 Park  
South  
Sandwich

**一杯の珈琲が人をつなぎ、  
出合いを育む“HUB”となる空間**

公園のベンチを彷彿とさせる木材を使用したインテリアを配したモダンな店内のみならず、緑豊かな施設内広場でも瑞々しい具材をたっぷり挟んだサンドイッチやフレッシュな珈琲をお楽しみいただけるようTo GOスタイルの商品提供をしております。

コア事業

美味しさを体験する喜びを明日への“活力”に  
“美味”を徹底追求した新業態をリニューアルオープン！

飲食



「鴨ときどき馬 神保町本店」を2023年7月25日オープン



“健康活力美酒場”（けんこうかつりょくうまさかば）

看板食材は、低カロリーながら鉄分やビタミンなどの栄養成分を多く含む「鴨肉」と「馬肉」。鴨肉は、国産ブランド鴨である「京鴨」と「岩手鴨」を、馬肉は、一度食せば忘れられないと謳われる有限会社小田桐産業（青森県）の「あおもり馬選」をご用意しております。

<鴨ときどき馬 神保町本店（東京都千代田区神田）>  
※ 「九州熱中屋 神保町 LIVE」からの業態変更

コア事業

ダイヤモンドダイニングの原点である“熱狂”を真っ直ぐに表現  
韓国料理の新業態の出店を継続！

飲食



## 「韓国大衆酒場 ラッキーソウル」を西新宿に続き、渋谷にオープン



韓国大衆酒場  
**ラッキー★ソウル**  
럭키서울

“SOUL”（魂）× “食都・ソウル”（韓国の首都）

看板メニュー「チュクミスラムギョプサル」（“チュクミ”とは韓国語で「イイダコ」のこと。）の他、多彩な料理とお酒をお値打ち価格でご提供する“美味しいラッキースポット”として、韓国への小旅行気分も味わえる使い勝手の良い酒場です。

< 韓国大衆酒場 ラッキーソウル 西新宿（東京都新宿区西新宿） >  
※ 「MEAT&WINE WINEHALL GLAMOUR NEXT 新宿」からの業態変更

コア事業

出店チャネルの拡充により新たな顧客層へのアプローチ  
業態初の商業施設フードコート内やブランド初の広島にオープン！

飲食



## オムライス業態「EGG BOMB」を浦和美園と広島に2店舗オープン



<ふわとろオムライス EGG BOMB イオンモール浦和美園店（埼玉県さいたま市）>



浦和美園  
2023年4月オープン

カスタムオムライス



広島  
2023年5月オープン

### “私だけのオムライス”

最大の特徴である「カスタムできる」という点に磨きをかけ、ソースアレンジのヴァリエーションを増やしアップデートした上、フードコートの特性を鑑み、ファーストフード的な使い方もしていただけるよう、トッピングメニューのフライドチキンをホットスナックとして販売するなど、新たな試みにもチャレンジしています。



## コア事業

ビリヤード・ダーツ・カラオケ業態とインターネットカフェ業態ポイント共通化  
ブランド間相互送客を強化しLTVの最大化を図る

## アミューズメント



## 「BAGUS」公式アプリリニューアル



イベント情報やお得なキャンペーンも、もう逃さない。

**BAGUS OFFICIAL APP**

ダウンロードはこちら



バグース



初回限定  
ダウンロード特典  
割引クーポン  
プレゼント



## 「遊ぶ・集う・寛ぐ」を網羅した『BAGUS公式アプリ』

「アミューズメント」or「インターネットカフェ」情報が選べるブランド選択機能を搭載し、会員登録をすることでどちらの業態でも使用することのできる共通ポイントを貯めることができます。BAGUSブランドの最新情報配信や、MAP検索による近隣店舗探しやクーポン配信によりお得に店舗をご利用いただけます。

新たなマーケット

ホテル・不動産



暮らしも学びも遊びもシェアで高入居率  
若い世代の支援

## シェアハウス「SUNNYSIDE INN 材木座II」をオープン

SUNNYSIDE INN <シェアハウス>



### “若い世代のライフスタイル多様化に対応”

入居率88.4%（2023年8月時点）を誇る「SUNNYSIDE INN」を鎌倉市材木座に新規オープン。海岸まで徒歩1分のためサーフボード置場設置、屋上テラスからは海一望と湘南への憧れを持つ若者の興味をそそる1棟です。年内に満室を目指しています。



SDGs対応

Think globally, act locally  
SDGsへの取り組み

飲食



Diamond Dining

ホテル・不動産



## 食品ロス削減への取り組みや地球環境保全の学びを推進

Park South Sandwichなど4店舗 <飲食>

広島・福岡合計4店舗にて  
食品フードロス削減対策を実施



出数予測の精度を上げて必ずしも売り切れるわけではなく、また少なすぎるとチャンスロスになるため、営業終了時点で処分しなければならない商品が多数ある状態で、商品を破棄することは以前よりフードロスの観点から課題でした。これらに対応するため、持続可能な経済を見据えて食の心地よい売り方・買い方を応援する「TABETE」の想いに共感し、**フードロス削減への取り組みを推進**

SHOTEL CHIGASAKI <ホテル>

TEAM530× 8HOTEL CHIGASAKI  
ビーチクリーン&石鹸作りワークショップ



6月から月1回で始まったビーチクリーン&石鹸作りワークショップでは、近隣の方々も交え毎回40名以上が参加されており、海の街茅ヶ崎ならではの環境意識の高さが伺えます。8HOTELでは「**ECO FRIENDLY HOTEL**」を目指し、この活動をルーティーン化を図る

A wide-angle photograph of a sunset over a calm ocean. The sun is low on the horizon, creating a bright reflection on the water. The sky is a mix of light blue and orange, with some wispy clouds. The overall mood is serene and dramatic.

# *Dynamic* & *Dramatic*

2024年2月期 第2四半期 セグメント別概況

## セグメント

## 主なブランド

## 展開方針

飲食・アミューズメント事業

飲食  
(275店舗)

売上構成比  
73.3%



全国主要都市を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。  
今期においては従前どおり既存ブランド\*のブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。  
2023年8月末時点で国内275店舗を展開。  
セグメント内には、ウェディング、FC・LC、ベンチャーキャピタルを含む。

アミューズメント  
(52店舗)

売上構成比  
20.5%



「BAGUS」ブランドにて高級感のあるビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業の運営に加え、2018年よりカプセルホテル事業に参入。  
厳選した立地のみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。  
2023年8月末時点で国内52店舗を展開。

不動産事業

ホテル・不動産  
(ホテル6棟)

売上構成比  
6.2%



「湘南を世界のSHONANへ」というスローガンのもと、湘南の感性の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力。  
神奈川県においてホテル運営事業6棟の他、飲食事業、貸テナ運営、賃貸事業、戸建て不動産販売事業等、複数の事業を展開。  
2022年6月に「SNL不動産 伊勢崎店」をオープン。

## 新型コロナウイルスの影響が弱まり各セグメント黒字で着地

## 飲食

## 新型コロナウイルスの影響が弱まり、大幅な増収

▶ 外食需要の回復などにより、増収増益

増加	売上高	：	<b>133.5</b> 億円	対前年同期比：	<b>126.9%</b>
増加	営業利益	：	<b>12.7</b> 億円	対前期増減額：	<b>18.0</b> 億円

アミューズ  
メント

## 各種施策が奏功し、営業利益黒字を維持

▶ 新規イベントの開催や既存顧客満足度向上のため公式アプリをリニューアル

増加	売上高	：	<b>37.3</b> 億円	対前年同期比：	<b>127.6%</b>
増加	営業利益	：	<b>7.8</b> 億円	対前期増減額：	<b>5.6</b> 億円

ホテル  
・不動産

## ホテル一棟貸の収益が寄与し営業利益は黒字を維持

▶ 但し、「PARK IN HOTEL ATSUGI」の一棟貸は計画通り第1四半期末に合意解約

増加	売上高	：	<b>11.3</b> 億円	対前年同期比：	<b>77.5%</b>
増加	営業利益	：	<b>2.5</b> 億円	対前期増減額：	$\Delta$ <b>1.6</b> 億円





おしゃれにカフェ・ガッツリお食事・お祝い行事 etc

あらゆるお客様のニーズに  
お応えします！



## 多種多様な業態・エリアにて飲食店舗を運営

- ◆私たちは、大切なお客様の、大切な時間を、笑顔と感動でいっぱいにします
- ◆私たちは、変化に臆することなく、新しいライフスタイルに合わせた価値を創造します
- ◆私たちは、常に明るく前向きに、謙虚な気持ちをもって仲間と共に成長します



VAMPIRE CAFE（東京）



わらやき屋（東京）



kawara CAFE（東京）



24/7 coffee & roaster（広島）



chano-ma（東京）

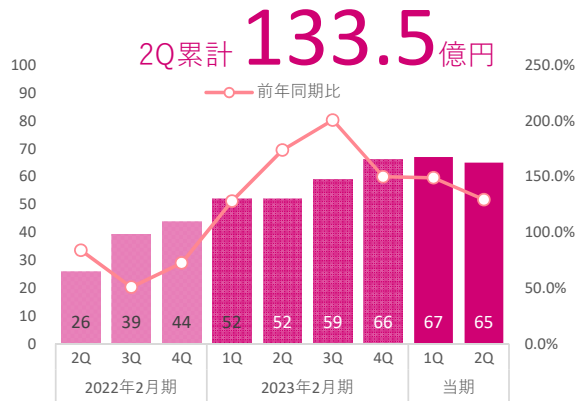


Park South Sandwich（福岡）



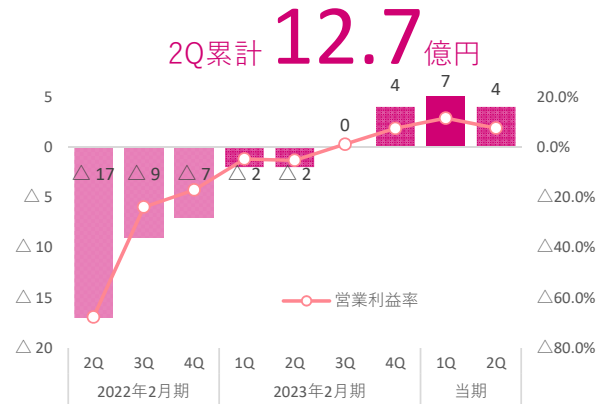
売上高  
対前年同期比

**126.9**  
%

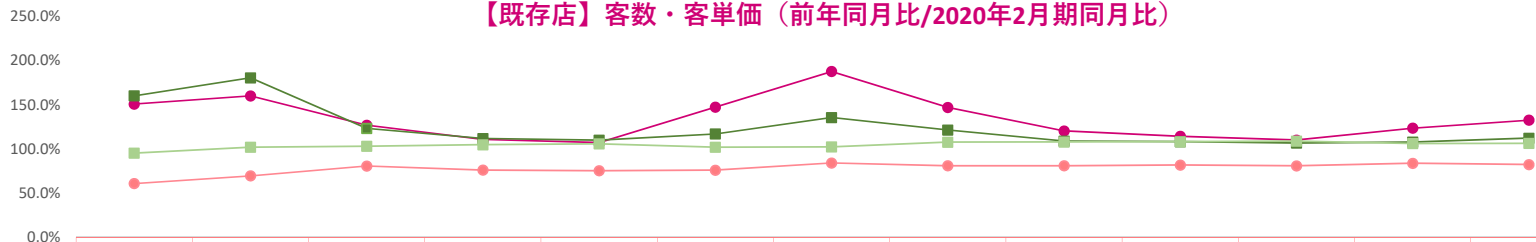


営業利益  
対前期増減額

**18.0**  
億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）



	2022.8月	2022.9月	2022.10月	2022.11月	2022.12月	2023.1月	2023.2月	2023.3月	2023.4月	2023.5月	2023.6月	2023.7月	2023.8月
● 客数前年比	150.8%	160.1%	126.9%	110.8%	107.2%	147.4%	187.7%	147.0%	120.4%	114.3%	110.1%	123.6%	132.6%
○ 客数20.2期比	60.9%	69.6%	80.7%	76.1%	75.4%	76.0%	84.2%	81.0%	81.0%	81.8%	80.9%	83.8%	82.4%
■ 客単価前年比	160.2%	180.5%	123.3%	111.9%	110.0%	117.0%	135.6%	121.5%	109.0%	108.3%	106.7%	107.8%	112.2%
□ 客単価20.2期比	95.3%	102.0%	103.1%	104.8%	105.8%	102.0%	102.4%	107.7%	107.9%	108.3%	108.9%	106.2%	106.4%



プロデュースするのは、  
洗練された大人のエンターテイメント空間

# BAGUS

（インドネシア語で「最高」の意）

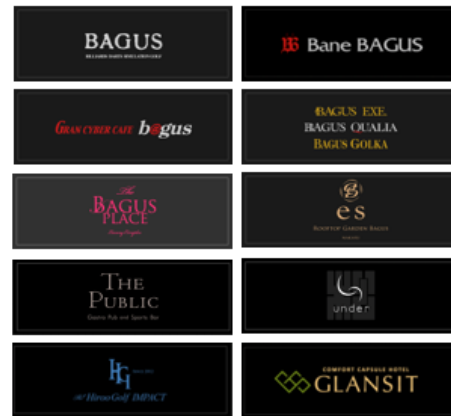
プロデュースするのは、洗練された大人のエンターテインメント空間

私たちは世代を越えて幅広いターゲットに向けて、次々と新しい事業を展開してきました。

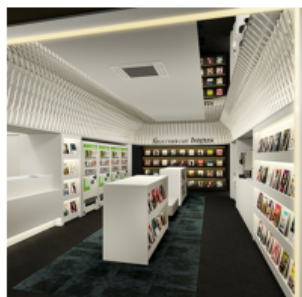
多様でありながら、全ての事業展開に一貫するのは、  
ホスピタリティ精神とクオリティの高いサービスの提供です。

エンターテインメント空間演出のパイオニアとして、  
私たちはお客様に「最高」の感動を追求し続けます。

<ブランド>



BAGUS



GRAN CYBER CAFE bagus



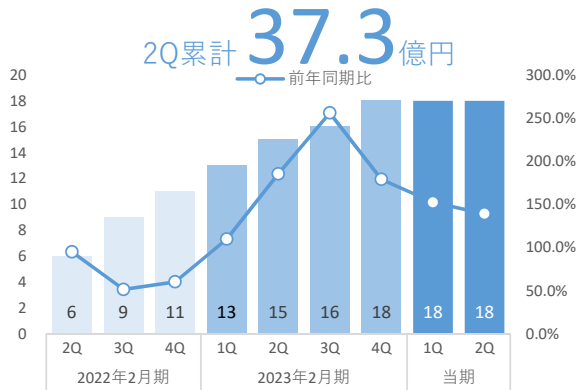
THE PUBLIC



Hiroo Golf IMPACT

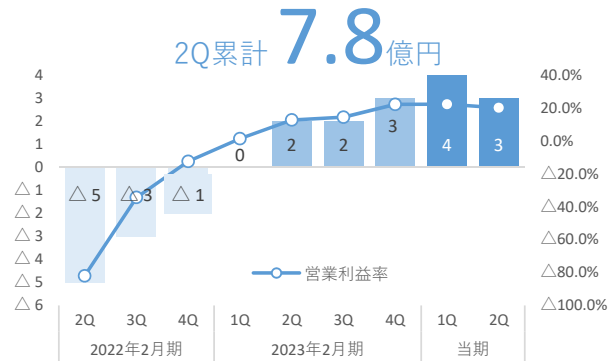
売上高  
対前年同期比

127.6  
%

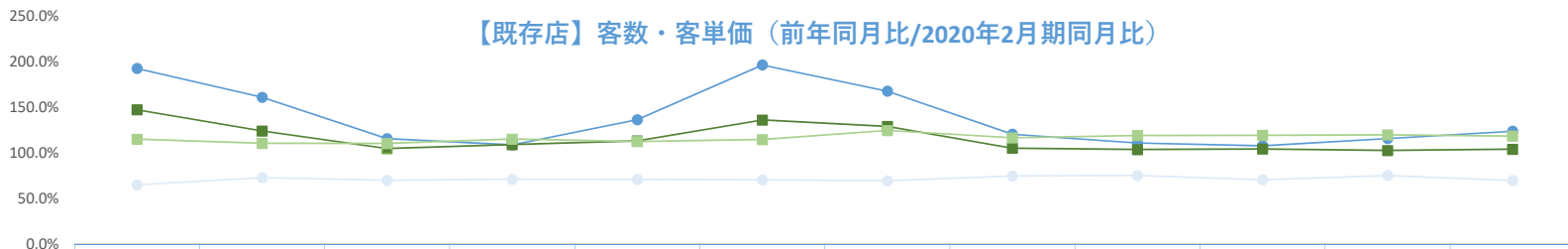


営業利益  
対前期増減額

5.6  
億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）



	2022.9月	2022.10月	2022.11月	2022.12月	2023.1月	2023.2月	2023.3月	2023.4月	2023.5月	2023.6月	2023.7月	2023.8月
● 客数前年比	192.6%	161.0%	115.6%	108.7%	136.4%	196.4%	167.7%	120.5%	110.8%	107.8%	115.8%	123.8%
○ 客数20.2期比	65.0%	72.9%	69.9%	71.1%	70.9%	70.4%	69.4%	74.6%	75.2%	70.5%	75.2%	69.6%
■ 客単価前年比	147.3%	124.1%	104.7%	109.1%	113.2%	136.1%	129.0%	105.2%	103.7%	104.3%	102.6%	104.0%
■ 客単価20.2期比	115.0%	110.5%	110.3%	115.2%	112.5%	114.7%	124.6%	116.6%	119.1%	119.3%	119.8%	118.4%

## 湘南を世界の**SHONAN**へ

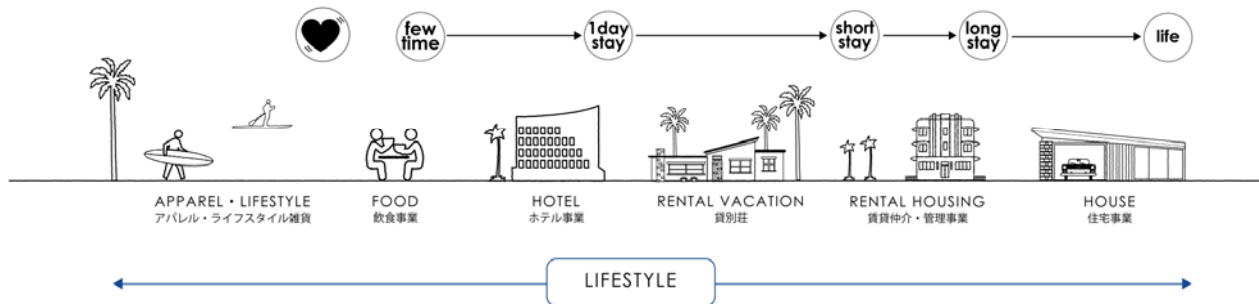
- 湘南の感度の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力 -

*Think Globally, Act Locally*



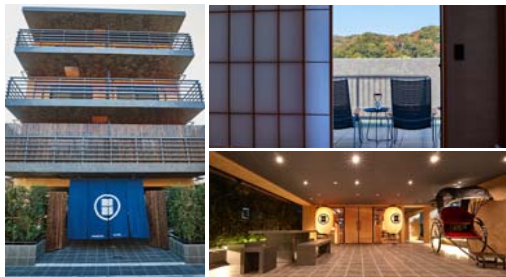


# WHAT WE DO



湘南のビーチカルチャーをベースとした感性が高く心地よい、暮らし全般にまつわる事業=ライフスタイルの提案を展開。

## ホテル事業 < HOTEL >



KAMAKURA HOTEL  
「SAUNACHELIEN 2021」受賞



8 HOTEL FUJISAWA  
(神奈川県藤沢市)



8 HOTEL CHIGASAKI  
(神奈川県茅ヶ崎市)

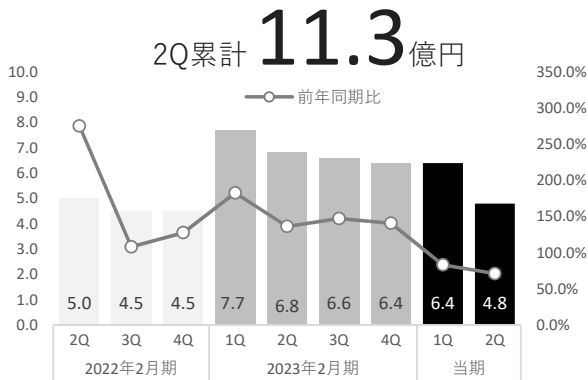
## 貸コンテナ < RENTAL CONTAINER >



ルームマートコンテナ  
湘南エリア最大規模の屋外トランクルーム

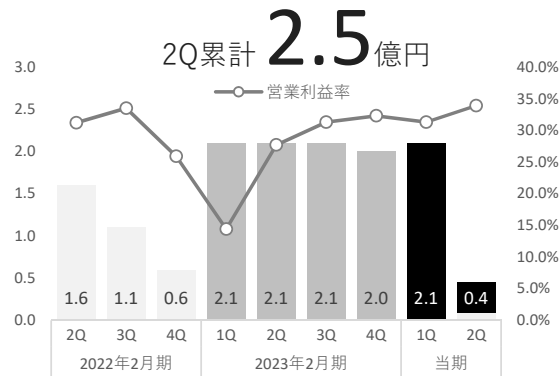
売上高  
対前年同期比

77.5  
%



営業利益  
対前期増減額

△1.6  
億円



## 同四半期対比 減収減益で着地

売上高:対前年同期比77.5%/営業利益:対前年同期比60.4%

新型コロナウイルス感染症軽症者の受け入れ施設として神奈川県へ一棟貸することで、逼迫する地域医療の負担軽減に努めることを目的に、「PARK IN HOTEL ATSUGI」を2021年2月期より神奈川県へ提供しておりましたが、2023年5月末（当第1四半期末）で当該契約が終了となりました。

これに伴い当第2四半期以降は、当該ホテルの一棟貸による収入や政府による全国旅行支援の継続効果はなくなります。加えて、当該ホテルは消毒に加え、2024年3月を開業予定としたリニューアル工事を実施するため、家賃コスト等のみが計上される計画であります。

## 2024年春のリニューアルオープンを予定



<PARK IN HOTEL ATSUGI（神奈川県厚木市）>





(ご参考)

・グループビジョンへの取組みと共にESG課題の取組みを通じ、社会的価値・経済的価値の向上と両立を図る

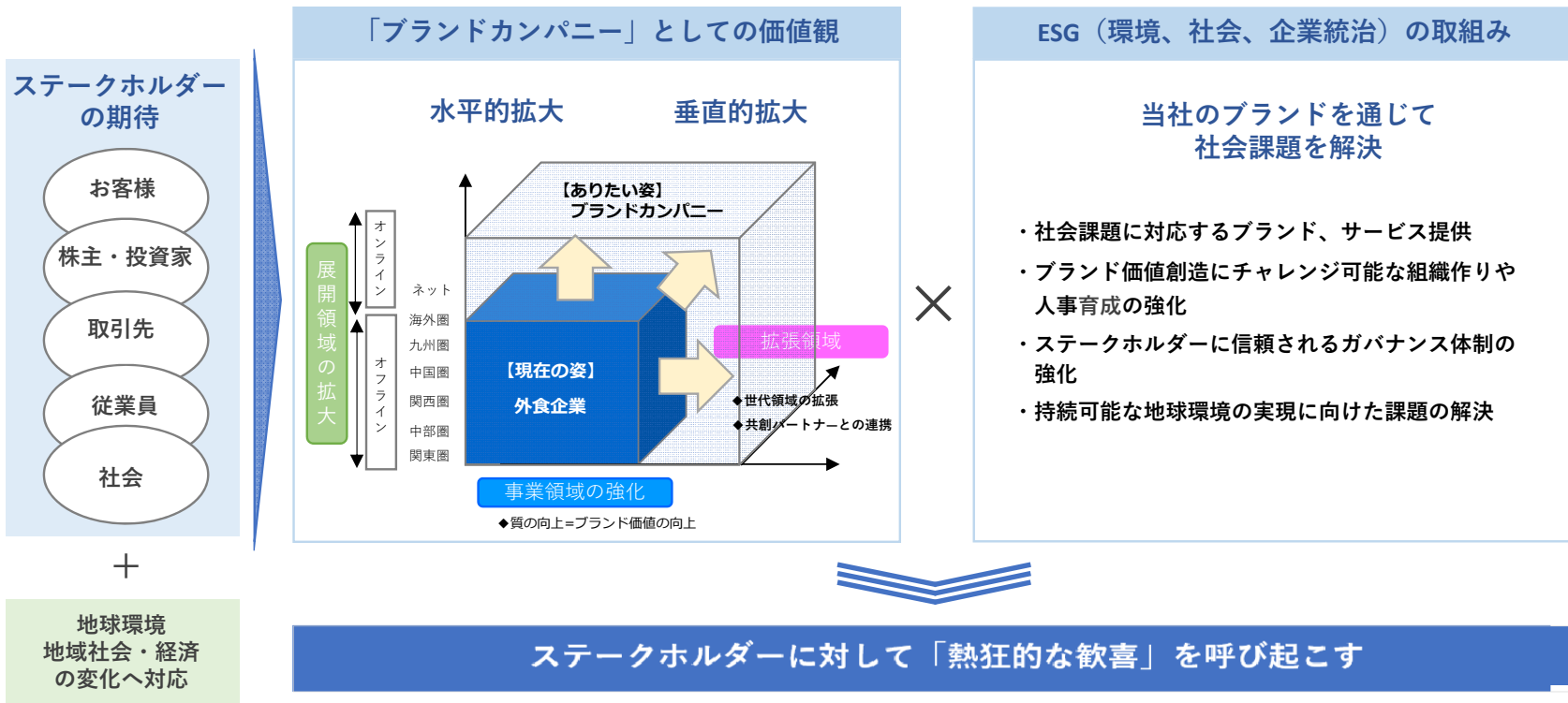
(単位：百万円)

		2023年2月期 (実績)	2026年2月期 (計画)	増減額/増減率
財務目標 (経済的価値)	売上高	32,235	40,000	7,764
	営業利益	467	2,800	2,332
	経常利益	838	2,700	1,861
	ROE	17.4%	20%	2.6point
非財務目標 (社会的価値)	女性管理職比率	24.2%	現状水準維持	—
	気候変動対応	・ CO2排出削減	【検討課題 2024年2月期まで】 ・ CO2排出削減方針の策定	—

- ・「グループ経営力」の強化に向けた具体的なテーマと重点施策項目は以下のとおり
- ・「LTVの最大化」のため「ブランド（業態）」「チャンネル（エリア）」「ライフスタイル（ステージ）」等の拡充

1 コア事業の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● グループ連携による出店場所の確保</li><li>● グループ経営力を活かしたブランドの創出強化</li><li>● LTV（LIFE TIME VALUE）の最大化</li><li>● ブランドポートフォリオの強化によるドミナント出店</li></ul>
2 展開チャンネルの拡張	<ul style="list-style-type: none"><li>● SC（Shopping Center）、フードコートなどの新たな販売チャンネル開拓を行い展開エリアの拡充を実現</li><li>● 地域創生を目的とした各自治体との連携強化</li><li>● 新たなチャンネルに応じたブランド開発</li><li>● EC事業による新たなチャンネル開拓</li></ul>
3 事業領域の拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>● M&amp;Aを活用した新規事業領域の拡張</li><li>● ホテル、不動産セグメントの販売商品の拡充</li><li>● グループ連携によるIPコンテンツ事業の強化</li></ul>
4 財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● ROE 20%以上、有利子負債依存度50%まで低減</li><li>● 営業利益 2.8 億円以上（2026年2月期）</li></ul>

- ・ LTV (LIFE TIME VALUE) の最大化による「ブランドカンパニー」としての価値創出とともに、社会課題の解決に向けたESGの取組みを推進することで、企業価値を高め、「熱狂的な歓喜」を呼び起こす

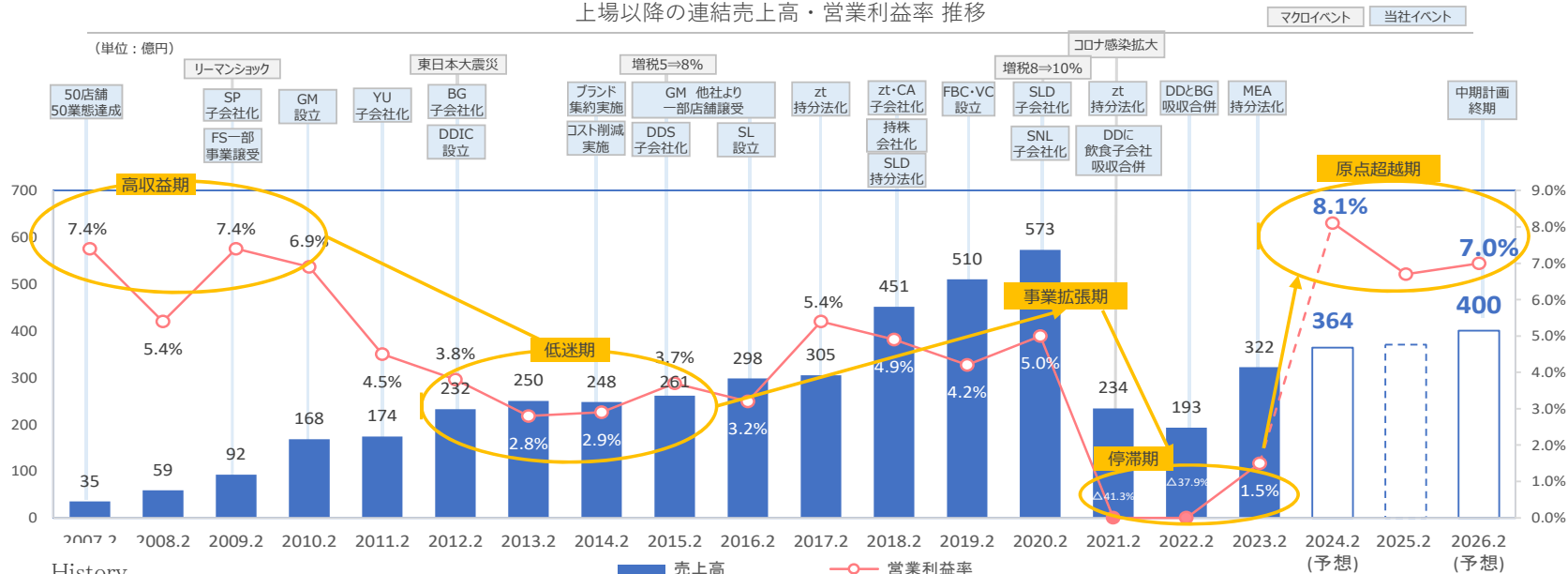






# (ご参考) 当社グループ業績推移

## 上場以降の連結売上高・営業利益率 推移



### History

- |   |  |
|---|--|
| 2009年2月期 株式会社サンプル (SP) 子会社化<br>株式会社フードスコープ (FS) 一部事業譲受                            | 2018年2月期 株式会社ゼットン (zt)・株式会社商業藝術 (CA) 子会社化                                |
| 2010年2月期 株式会社ゴールデンマジック (GM) 設立  | 2019年2月期 株式会社フードビジネスキャスティング (FBC) 設立<br>株式会社DDホールディングスベンチャーキャピタル (VC) 設立 |
| 2011年2月期 株式会社吉田卯三郎商店 (YU) 子会社化  | 2020年2月期 株式会社エスエルディー (SLD)・株式会社湘南レーベル (SNL)子会社化                          |
| 2012年2月期 株式会社バグース (BG) 子会社化<br>Diamond Dining International Corporation (DDIC) 設立 | 2021年2月期 株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として4社(SP・GM・CA・SP・SL)を吸収合併                  |
| 2015年2月期 Diamond Dining Singapore Pte.Ltd. (DDS) 子会社化                             | 2022年2月期 DDICの全株式を譲渡し海外事業から撤退<br>株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として株式会社バグースを吸収合併    |
| 2016年2月期 株式会社The Sailing (SL) 設立  | 2023年2月期 株式会社MEA (旧：フードビジネスキャスティング) の持分法化                                |

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、  
売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、  
目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。  
尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、  
当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、  
株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、  
当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## お問合せ先

グループ経営管理本部 経営企画部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : [ddg\\_ir@dd-grp.com](mailto:ddg_ir@dd-grp.com)



*Dynamic & Dramatic*

大胆かつ劇的に行動する